

小平市の福祉的な交通体系のあり方を考える情報交換会（第9回）

意見要旨

令和3年11月9日（火）健康福祉事務センター 第3・4会議室

参加者（団体）の近況等

〈利用者代表〉

- ・最近、段差のないバスが増えてきており、利用者としては便利である。
- ・介護タクシー、ユニバーサルデザインタクシーが使いづらい。迎車料金がかかることが経済的に大変である。また、事情はあるだろうが、台数が少ないと感じている。前から言われているが予約も取りにくい。
- ・発着地しか乗り降りできないシステムが不便であるので、なんとかならないかと思っている。
- ・タクシー会社には、通院や買い物支援を含めたサービスを提供してほしい。市のタクシー券はほんとにありがたい。

〈福祉有償運送事業者〉

- ・コロナ禍で多少は利用が減ったが、定期利用があり、今はだいぶ戻ってきている。知的障がい者と車いす利用者による利用が多い。
- ・他県で、福祉有償運送で車いすをご利用の方を移送時に事故により、利用者が亡くなる事例が発生した。車いすを車に乗せること自体が危険であることを再認識した。今後さらに危険を意識していきたい。
- ・ドライバーの確保が困難である。車があってもドライバーがいない。ドライバーがいても車がないことがある。利用者に迷惑が掛からないように他の福祉運送とも協力していきたい。
- ・コロナ禍で通院を控える方が増えたが、80パーセントくらいは戻りつつある。ワクチン接種で高齢者の利用が増えたところもある。

〈タクシー事業者〉

- ・ユニバーサルデザイン車両が少ないことは事実で、お断りするケースもあり課題である。また、乗務員の確保も難しいことがあり、職員体制の再構築が必要である。

・コロナ禍では乗務を控えたり、退職したりする人も出てしまい、売り上げが減少した。最近はずいぶん利用希望が増えてきており、乗務員不足により配車が困難なケースが出ている。

・ユニバーサルデザイン車両を使用する際、お客様を載せるまでに時間がかかってしまう車両があるので、課題であると認識している。

・ユニバーサルデザイン車両（バネット、セレナ）は、場所を選ばないで使用できるので、増やしていきたいと考えている。

〈介護タクシー事業者〉

・個人でやっており、台数が1台か2台しかないので、申込が集中する午前中はお断りをせざるを得ない状況がある。その分、個人タクシー同士でネットワークを作っており、動ける事業者でなるべく対応するようにしている。

・ワクチン接種により6、7、8月は利用が増えた。特にタクシー券の利用が増えた。タクシー券は、人によって足りない人や余っている人がいるので、難しいのは分かっているが、必要な人に必要なだけ渡るようにしてほしい。

〈障がい者支援課〉

・障がいの内容によってタクシー券の枚数が決まっている。確かに、余って返却される方もいらっしゃる。一方足りないとおっしゃる方もおり、人によってニーズの量が違うというのはある。

〈福祉バス〉

・施設によって色々なタイプのバスを用意している。学校の通学用の大きな路線を走るタイプのものから中型小型のものまで多様なものを利用者のニーズによって車種を揃えている。ワゴンのタイプでも車いすを載せられるように施している。

・職員のコロナ感染により施設が休館となったり、ドライバーの家族等のコロナ感染により出勤できなくなるなど、この1年半くらいは運用が大変な時もあった。

その他

○今後のワクチン接種への対応について

〈介護タクシー事業者〉

- ・接種の運送の際、クリニックによっては直ぐに接種してくれるところもあれば、時間がかかるところもあるので、待っていた方がいいのか、一旦帰った方がいいのか、料金にも関係してくるので、難しい面があった。

- ・3回目の接種が始まれば、ニーズはあると思う。

〈福祉有償運送事業者〉

- ・ワクチン接種については、会場の中に入っての支援となるため、時間が結構かかった。